4	光、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
	光軍復一大軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛軍衛
	郡がる。
	上流
	局。人。謂。顧。軍。之。多不不夫 神童和 上 一
	源。目。此。能。統。中。往一一。府。 構造洪 秋風 秋風 東京福
2.00	士。而不。則 誇。財。自。軍。能。 食事和 巴間 清明 衛祖 國家 中面 乙二十 上外於 海海 專歌 等之六 湿地 超 石 在
	慶。風。一。稅。天。間。不。今 秋。 如稅收事關 事務 在一路報告 香椒 大 以司行 文明 事務 上 上 在
***	除。天。人。之。不。會。央。致。者。 療法學 與失樂 與失樂 與大學 與大學 與大學 與大學 與大學 與大學 與大學 與大學
A. Said	吾。建。之。得。也。以。途。者。念。異。如此 局岳 JR 随前沿重 待寬 观典 对解無 中收 片 司通尊 資莊 即 各 即 各 即 各 即 各 即 各 即 各 即 各 即 各 即 各 即
	無。吾。軍。幹。吾,絲。達。盡。涕。之。 差置 順後 大 (直院館) 迎房 棘際 五君無 面 腹
	报报 。 一个。 秋 · 唐 · 明 · 相 · 目 · 目 · 相 · 一 · 6 · 法院] 解 【 · 是 · 经 · 经 · 经 · 经 · 是 · 是 · 是 · 是 · 是
	型。是。我。前。随。的。随。夫 絕。 沒 二 沒 一 沒 一 沒 一 沒 一 沒 一 沒 一 沒 一 沒 一 沒 一
	二・之・名・断・理・奉・共・以。俗・忘・若 可。法。裁・爲・同 無 之。國・乃・率・人。民・己。谷。手・也。革。政。安・之・治者。危・手・言・萬。其・和・挽・之。公。乃。收。不 制。法・未。他・老・革・行。循。民。心。矣。國。於。今 命。平。忍。建。之。除。之。雖 第、初。之。?。 [5]。則 別。禁。禁。
	好。故 方。然。非 要。基。而 爱。匪。無。一般以。下。所。亦。法。均 時。人。標。理。之。建。日。時。况,以。設。
	既。今。治、者。一。者。磯。甘。也。惟。秩。之。私。之。從。洛 故。遵。代。人。雖。之。表。之。觀。庶、革。祇、今。政。返。 立。日。絲。此。紙。言。者。爲。新、民。序。效。意。不。出。省。也。十。以,守。矣。反。現。基。而,足。命。知。日。時。之。 則、之。而。二。所。之。亡。政。國。彼一而,成。守。之。化。卒。三。雖。以。則。有。之。代。吾。 則、之。而。二。所。之。亡。政。國。彼一而,成。守。之。此。爰。此。以。則。有。之。代。吾。 其。悉。棼。端。能。其。也。清。府。前。此。共。是。地。表。正。州。盛。必,人。也。以。在。諱。內。必。破。。高。。 論。務。恐者。罄。他。 之。諸。途。水。和。敗。者。願。所。當。聊。頓。天。人。人。於。於。誤。一。據。命。出。 於於。不。亦,相。以、禮。公。之。火。之。天。則、公。和。國。合。之。總。必。人。為。人。者。民。方。而、大、口。民。
	事。急·貽·舉·非·於·上·平·其·梗。攘·基。下·人。尊。織。民。會。英。統。先。乾。詩。侯。集 生。破。不,非。而 水。自 於。大。則 一。建。二。此 可。抑 名。體。之。人。重。之。侯。先。劳。製。徵。之。之。壞。知。昔。不。火。〕 一。此。局。其。二。設。端。所。以。亦。奪。乃,事。知。其。麥。議。議。當 守。法。此。故 心。特。安。一 有 。此。措。之。 一
**	河。者。無。必。所。事。過。確。謀。心。徇。定。國。家。議。院。機。以。克。昔。後。以:者。而:祛。外 即。設。日。於。衷。而,此 躬。無。能。條 略。定。所。風。私。矣。家。有。並 實。關。行。林。美。法。爲。實 人。而。杜。蓍。者。之。民。又
	全 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	柳。親。夫調。趙。滯。雅。世。懇。制。命(傳。逐。歸。里。懷。己。廷。 帝。故。歌。歌。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如。如
	東京
	東京 宗 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋
	在 · 擬 · 數 · 2 · 2 · 3 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 3 · 4 · 4
	中
	神
	では、
	では、

	Comments of	・部・復・傷・薪・		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 生 號· 望· 之· 領	・癖・寶・召・令・府・両
撲	放因関都督來電 を を を を を を を を を を を を を	水一節不勝を水一節不勝を水一節不勝を上がまり、	政・月・日文・名・省後・初・年英・貴・別・田・田・井・朝・日	は・連・車・防・長・南部 は・對・文・統・及・衛	な	府京 是 各報
Pİ	智來電調回編展辦民政 更正 观污名者 木勝切慮 更正 观污名者 木勝切慮 中 主 主 主 主 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	編 標 帰 の に は は 持 る 界 る 推 が る 界 る 推 り る り た り た り た り た り た り た り た り た り た	大長林子超級高連動の大長林子超級高連動の大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大長林子超級高神高本智・大阪神高・大阪神高本智・大阪神高本智・大阪神高本智・大阪神高本智・大阪神高本智・大阪神高・大阪神高・大阪神高・大阪神高・大阪神高・大阪神高・大阪神高・大阪神高	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	國隊長出示宣佈連日拾却 國際長出示宣佈連日拾却 國際長出示宣佈連日拾却	四南北東三 一百十年 一百十年 一百十年 一百十年 一百十年 一百十年 一百十年 一百十年
行	全層・展謝氏 登場・ では、	・政・推・九・海・・大・海・・大・海・・大・海・・大・・・・・・・・・・・・・・・・	間・欄・和・高・本智・表 ・一根・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・	・以・連・趣価を ・連・型を ・連・型を ・一型を ・一型を ・一型を ・一型を ・一型を ・一型を ・一型で ・一型で ・一型で ・一型で ・一型で ・一型で ・一型で ・一型で	南・ 南・ 南・ 東和・ 東和・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ 保・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
廣	● は、	・人・茶・類・ 楽・ 類・ 本・ 一	型上十日最宗 理	水定進行 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	随・到・昨・増・加・ ・ 過・加・ ・ 過・加・ ・ 過・加・ ・ 過・加・ ・ 過・加・ ・ 単・ ・ 単・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	E C C C C C C C C C C C C C C C C C C C
4	選英公使已飯僑寫內 帮內 今日內城添兵 帮後內城久無憲兵今 帮後內城久無憲兵今 帮為出城者已有數千 本外務會以莊京日使	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	THE STATE OF THE S	本 た 先 費・大・玉・	以二・今軍事即・	省・大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	原内城英人選入 施兵今又出現漢人 施兵今又出現漢人 を 有數千人(大陸報	・矢・衛・清・氏・・除・除・除・政・國・	流 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を	が、東・都・派・軍・	お・な・ 理・守・派・利・美
	ない と 日・	・ 及・三・府・政・府・の府・日 ・ 大田田田 ・ 大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	グラック である	変・教・都・乞・兵・約・進・子・前・強・一性・外・往・兵・大・中・元・東・一大・平・元・東・一大・平・元・東・一大・中・元・東・一大・中・元・東・一大・中・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・
	現・國大勢 東京・ ・ 一部 東京・ ・ 一部 東京・ ・ 一部 東京・	大	以馬八牛麻香 以馬八牛麻香 以馬八牛麻香 以馬八牛麻香 以馬八牛麻香 以馬八牛麻香	河 伊華	東海・田村町北田村町北田村町地域・田村町町北田村町町北田村町北田地町北田地町北田地町北田地町地町地町地町地町地町地町地町地町地町地町地町地	・海 ・
1		院顧問大臣林院を別府知	李 八	文 秦 形 中 内 国 八 天	で大震を ・原電・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で・ ・原で ・原で	和風・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水
	大 動 立 で し で に に に に に に に に に に に に に	7月 本 工業	本	等	館が東京の一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	でである。 では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、大変を では、ためでは、ためでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
匯	・多・でである。 では、 できまり できます できます できます できます できます できます できます できます	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・覆・手・二・外・論・一人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	那 藉 · 向 · 京 · 桐 調 · 各 · 和	力・邸・事・公・費 提・偽・可・食・財 提・魚・祭・売	使。云。適 無 困 為 公 集 之 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是
中旅	恵・ ・ 國公 ・ 國公 ・ 国 ・ 国 ・ 国 ・ 国 ・ 国 ・ 国 ・ 国 ・ 国	でである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・	國·現	非一整	・ 文・ 公 等 さま
館	は、住春で、は、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	大局鉄佩真 一次	神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・神神・	全 和 主 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	諸・ 精・ 富・ 君・ 都・ の 一 の の の の の の の の の の の の の	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
廣生	戦・川・前・漕・除・前 至・見・紬・云・交・押 愚・諸・蝘・敬・度・開 參・元・自・支・元・四	・ 一 本 ・	第・主 敢。債・四 病・役 聞・於・麻 起・全 一 第 十	場·如·公日·復 聯·下·传走·函	云・鉅・使・離・以 ・並・云・朝・日 ・ を 鮮・本	親・須・表・集・何・執・貴・貴・同・院・能・政・一人・一人・情・君・爲・時・
准有不 有 有 不 於 質 在 於 質 在 於 質 有 在 於 的 行 的 行 的 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行	職・ 一次 ・ 一部	百、等 三十元 一十元 ・ 本 元 五 本 五 本 本 五 本 本 五 本 本 五 本 本 五 本 五 本	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	少情 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変	で に に に に に に に に に に に に に	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
が発生的土地	古・文・英・元・英・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元	発度・萬元 ・ 本度・ 東元 ・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度・ 本度	一直 一直 一直 一直 一直 一直 一直 一直 一元	東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東	森の 森の 本利性 新踏な は 本利性 新踏な は 表記 本利性 新踏な は 表記 と は 大 の の の の の の の の の の の の の	無時不憂心質涙今 一般行或在交通銀行 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の
東光 知 外 徐 於 連 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬	元 民致部右参議紹介二百元 民政部右参議紹介二百元 元 及左丞傳蘭泰八百四十元 及副大臣周十元 又正太傅蘭泰八百四十二元 又左丞傳蘭泰八百四十二十元 又左丞傳爾泰八百四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	都統色楞額六十五元 載台下百五元 下日滿都統景思	五百四十五元 載測四千五百四十五元		急・力・作・大・	無時不憂心質淚今幸蒙諸公無時不憂心質淚今幸蒙諸公與理運未能赶即辦理目親 銀行或在交通銀行屬商提取 與在事 以致遲遲未能赶即辦理目親 以致遲遲未能赶即辦理目親
	行・右・十・周・度・百・ ・ 本・本・本・ ・ 本・本・ ・ 本・ ・ 本・ ・ 本・ ・ 本・ ・ 本・ ・ な・ ・ な ・ な ・ な ・ な ・ な ・ な ・ な ・ な ・ な ・ な	・戦・戦・戦・震・ない。 景・一・戦・思・ない。 界・破・ない。 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 ア・な、 、	日一新水	五	第·提·公清 正·取·荷·交 ·百·敬·馮·允·華 ·元·韓·恕·允·華	
《明山陽劍率空十票分外特徵要筆事與事人行用任義國籍及實 濟之用數應備辦伙食及對政館久思中國士神光顧余於逃滅難一面被清釋會每日條設午號及晚餐因來沒繼中國主題,	而一百四十元 又參議上行 收銀遇宣營西洋河巡防馬隊求獎哨官公都英三千元 又副大臣周 基	一次 正 強	本趙爾異奏請為林 兵大 臣派等 一則的 清無出 一則畏基權 力 日張不可駕馭也 宣化等處土匪之猖獗	は、泰等一千三百四十元、正紅蒙副都就良寮三千元 脱騎校德恒二十元 那中堂十一萬二千八百元 楽寫二十元 那一次作業 大大臣 では、	又華帖式文彦二十元 大清銀行帮 张允章等六百十元 世太保五萬六千 被炸等六百十元 世太保五萬六千 有元 佐領英華等一百元 海軍部參	走吳、廷燮 四百二十元。又金銀庫 長覺羅鐵峻一百六十五元。又金銀庫 長慶琛一百五十五元。又廉條司副 長慶琛一百五十五元。又廉條司副
m	巡防に の の の の の の の の の の の の の	北京連接・地域の中の地域の大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大きない。大きない。大きない。大きない。大きない。大きない。大きない。大きない。	本 八百元 八百元 八百元 本 で 徳恒二 に が 徳恒二 に に に に に に に に に に に に に	十元 大清銀行帮 十五元	二十元 又金銀庫二十元 又金銀庫二十五元 又資銀庫三十五元 又強の車
数图	水・姓・姓・二・用・	立・西・井・望・毎	・一一語源・日	未・長福・干・蒙	副·萬·符·軍·銀行軍·第·符·第·符·第·符·第·符·第·符·第·第·第·第·第·第·第·第·第·	源・資・旅・又・又・ ・子・節・司・通・金・銀・ ・元・世・副・早・銀・

金。华。华。华。	(版三第)	(報)	h #)	(張	
全者則派三千金因之官場大為譯樂 得俸薪一千金者則捐三百金年得萬 得俸薪一千金者則捐三百金年得萬 為 是 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	情要. 一世人 全面 場齊耀琳力 情要. 一世人 全面 場齊耀琳力 一	有國城之觀應請速發大隊以養經 個 云 東 人 承民粉從勢其危險兼以羅面已 股數多裏不一而約計全府不下上了 股數多裏不一而約計全府不下上了 大學	云汝寶自十月以來人心思灿然心理尚無踪跡何意十二月初一之後各州縣紛無踪跡何意十二月初一之後各州縣紛無踪跡何意十二月初一之後各州縣紛	一時尚難分布聞已向哀軍假除其原電 其爲驚懼惟軍隊其少為內除陸軍砲營 其爲驚懼惟軍隊其少為內除陸軍砲營	王立梁帶除馳往與賊接仗二時之久獲 馬三匹槍斃一名賊由山溝奔逃次日又 信供認姦槍焚燒不諱云云 宣供認姦槍焚燒不諱云云 一次事府告急之電文
以外房有要求尤不欲蒙古東積 如要求俄國富力為斡旋又以公報發表 如要求俄國富力為斡旋又以公報發表 如果求俄國富力為斡旋又以公報發表 如果求俄國富力為斡旋又以公報發表	所性芳末告脏京代理公使云將往庫倫前桂芳末告駐京代理公使云將往庫倫前桂芳末告駐京代理公使云將往庫倫所議蒙古交涉問題并請俄幹產俄政府乃數庫倫俄領平之意見得復云蒙人之本	問題飲獲日本於滿洲之同一利權保全 問題飲獲日本於滿洲之同一利權保全	一月十二日華盛頓電云俄國對於蒙古一月十二日華盛頓電云俄國雖希望蒙古不欲執侵略主義也	不前回演勢明遠見保証不可担 な既無逸除可遺只有質假 袁 軍 一種 な既無逸除可遺只有質假 袁 軍 一種 な既無逸除可遺只有質假 袁 軍 一	五 第二公山教 土 整 推 期 曾經
室	日之所の皇者在治安 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	新、評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人信用故對物信用至於掃地以有價證等人信用為基礎確認別以前中國之級的人信用為基礎確認別以前中國之級的人信用為基礎確認別以前中國之級的人信用為基礎確認別以前中國之級的人信用故對物信用至於掃地以有價值	41 一大院 是中國人之購買者 政府之不付賠款其明體也其主因則在 政府之不付賠款其明體也其主因則在	俄國歌以蒙古人版圖俄政府央無此意 (記者回俄政府所言萬不足信) 日人的清(夏易之悲) 三井物產會社理事福井菊三郎氏語人 三井物產會社理事福井菊三郎氏語人 百中國貿易之前途予賴悲觀之蓋漢口 一人的清(夏易之)
全人工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	本 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	名	東京の原産を受ける。 東京の原産を使ける。 東京の原産を使りる。 東京のの原産を使りる。 東京の原産を使りる。	東京三大教教 ・	京都萬谷盛鐘線內微數十十世紀,在
所有別別 所有別別 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	日本	株中 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	所	無濟學與大人與學九君義及人此一家並無分出(海斯里與大人與學九君義及人與地域之一家,其一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
中一次	7 151 年 15	思想是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	個別の 一個 一個別 一個別 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	面字歷上海縣告示附近假胃格外小心如由民局聯辦領郵局先發一國為城 與領域是公司提高大學與新聞於公司與一個學歷的一個的人 政治學與有此對立的少君來含求到為索一概獨之立時化與為東西來說兩又付一個是一個 更要的一個學問,在一個學問,在一個學問,在一個學問,一個學問,一個學問,一個學問,一個學問,一個學問,一個學問,一個學問,	要九君素及是病之苦型之后,所有者称此到新上立剂光明的美具名口第一种医疗人比一家 並無分出一般下臭霉染一角 立止牙 庙一角 医静宫神经 医动物 电影 人名 医神经
自報有可由收其距所還元帝 是解無氏清極。 是解無氏清極。 時期中間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時	日日 (1000 所	四條中性中月曾日生四有 守盤 華永縣 東一由整體 助川中 是無寒歌聚一由整體 的中華 最近自項與日 觀與 的市號 是 不與情店給十條件一在	五人各類後都以各種書之間天 開如權 受評一人民權物之下 可配款所傳册 12 整述必案愈 門區數或則收了成成學然顯彰 然 1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	和至其付据的 和之其付据的 和之其付据的不 和之 其付据的不 和之 其付据的不 和 之 有 是 和 之 言 之 司 就 形 成 形 成 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	學者 「一個學生」 一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」 「一個學生」

da Kalari

.

器市西 號 整四 英 德路勝 國 學 即 家 字 都公司 機 佈 蹇職東義顯所十自惟執遇與人男者還之廷 盛耳施務馮得二解思戈王有斯血民我蟄乃 演准夜三拜禮即六初月二十 新 廣 器 生 全 遷七書 林步青 馬飛珠串海和尚 連 燈 串潘巧 我名學取號單以 一月初五日即辛 航海百 光十二月十八考取正備兩館支十二月十八考取正備兩館 常考及 賣拍 毯器 地木 服 行洋學師意思 師年三十治同自創始 年四十七百八千一英 日零色色風原書間並映賣淮 可星磁外東內轉價移長數頭子 看花料菓火炉高木響條等五 此名器色爐火高木響條等五 此付相二(X 條板字在下准 加佈現半百(X 公內棧五午于 并二條拍七條三可判拍馬三初 行 8出後十共角 大二寶路,四 散田濟當七計鋼 个 了鋼美鐮日 (Z 夜五初 貨 火 遭 行洋摩師意魯 甲107 車 **行洋摩師意為** 即年三十治同自創始 即年三十治同自創始 年四十七百八千一英 年四十七百八千一英 司四之樣號物 火可路清

頭角七廂包別特別夜四辺月二十 十四百七 干 Ą

文十五本每報劇講圖

C7595號四十四百、五千 風律德閱

生營裔紳申到城內請聘

新團本〇址原他幻通境權城泥路馬大 片活仗打演晚等六初五初四初月禮於 片活正眞 仗打命革 演園戲樂群 蘇東只用收律一等第八仙幻樂群加不交分響照愛看 片景風 省各國中片喪出后太清 后太清

衣

到小置後串客李徐林宏特張 郭 陳徐澤孟富干小業後對了洪曹 到小置後串客李徐林宏特張 郭 陳徐澤孟富干小業後對了洪曹 永小長燕海小海燕軍串請歸廷玉月燕村福仙振喜全荷廳長芝銀 永小長飛亮明區林順 李 奎 春天清景 人滿 孟 春海梁 人大清長置 三 (畫十) 婁 母果 章街失叉 址 穩茂鴻 (李) 山 人 興奎喜吳尚和 (橙五) 發禮 女秦 開馬斯多力企支錯田 (每) 用於 | 中村 楼鶴 黃州盃會 铭四實珠會庭

十五百

Ξ

明一聲 零 失 擇此莊正人一五莊利乃原本 对行佈學案一十號第匯甬一行 140 日祥作向百期一百恒同該失 茂顧該爾八月念與生

17

四十七八年

骨坤院龍鳥

園茶桂丹街 義寶 天三串會主館湘瀬旦花名著界花鴨禮

出爐 Note de 現其公 tachable 儿質司 for keitle 欲色今 the boiling 似色今 借及備 用外有 上子或欲 海間北裝自選四者 M

有也四至居垢極火費取本均種 公司 最實並每此金司不式 利冬灰需煤免不頗氣 便令塵費氣裝收爲火 簧灘良壓山珊周 人家满處倫元價聯資曲改 里宅到堂有六日名美承良

童字人名器玉蘊原 行洋泰胤老

賣拍三拜禮

中 寄 京 南 玩古銅磁私像木紅

人本得象 白七百岁血影麼克智畫搶秦本要與之屬 夜運轉飛騰於取破打奪衛裝情 啊耳同 0735演奏千一章二話亦戶如果如果然往里隔

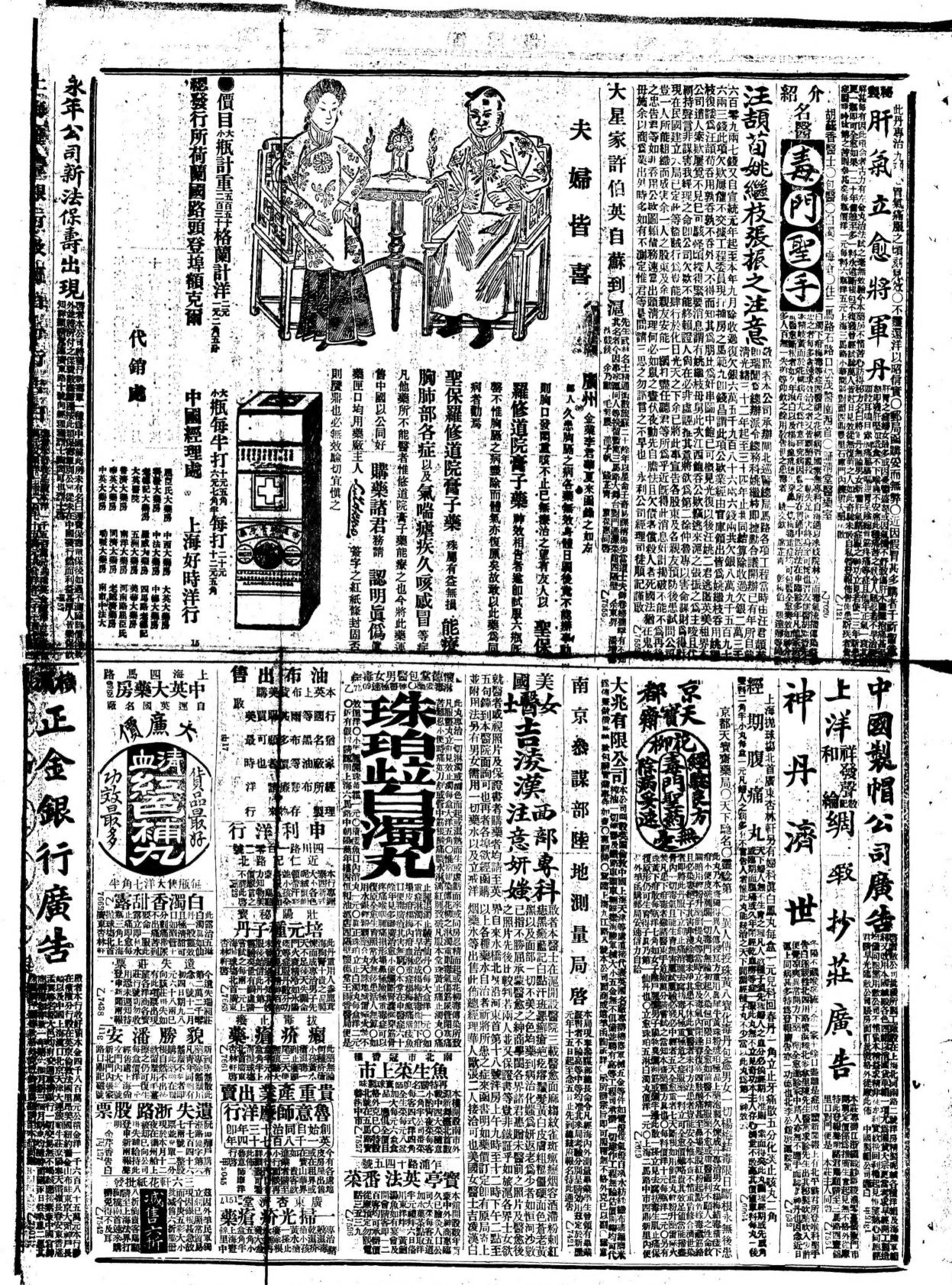
> 等 鏡書洋板鋼 **行洋壓師意魯** 即年三十治同日創始 年四十七百八千一英

行 超等物百油金哈出拍午

治也爲於

TV-THE	清・舉	・策・項	• # •	課・争	(版・値・3		線・輸) · 唱 - /	の自む		報	聞 記	滁	省		A . I	張		第	,		
う。そう	建型的指益原屬可行性細目仍應 孝 之 之 之 之 成 的 交 の の の の の の の の の の の の の	製請採納理財部李部長以所擬簡章 石製設・破産風大利所在昨挾是項方 人	• 又• j	日生提議組織政務を局一所事引は一路而闢利源作特招集本部顧問及各一問	正軍餉支継之秋 <u>東郷田</u> 会開採以発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一番 一種 理財部部	輸送科起存態望台軍車備用駅清軍所儲于彈馬夥送至武昌由民軍	陽矢正廠總理周葆貞現已實行効順並	ででしているか。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	名年貌次	軍忠神趾等字様止殿立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設・調立・記	お神社	普通學堂內黎副總統旋派員編	戸 軍樂隊並放五色鞭砲駅 のアイを動物の最近の一年のアイトを表現した。 のでを、 のでを のでを のでを のでを のでを のでを のでを ので	ME 一 大 日 展 返 省 三 十 一	在川響應並奉副總統電調回郭援助三	二票内票天言前の首と窓上記述川底が前赴川三	務部派軍樂隊整隊歡迎	刻以事戦事段人成年を足遊録署為行台因軍事	● 整理車大軍投票公舉為湘柱總司令 ● 整理性 ● 整理性 ● 整理性 ● 整理	改二 事
人名一対の日本の一体の一体を一種の一体を一対の一体主人由化學發明代製羊脂球物量可	孝感李迪君日昨抵省聲稱距孝感縣城分	他十八章均已撤退至信惕二人其原設之逃止而四十章野	自信陽至黃	宗而終副流忽專令等改正月月のまた。	• XI * \$	▲清兵慰孝時之騷擾	工程餘將各路	軍移駐寅季	肝・経・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	争励星期之電於十六	一日因是自恋孝感黄陂有戰事故也同い。		鐵路建設後敵吳不	常有火車水漢路深消息自民軍連日期一目清矢温路漢口後毎至夜深三更時候	: 7	完全分布各島日支< できるかのできる。 できるかのできるかのできる。 できるかのできるかのできる。 できるかのできるかのできる。 できるかのできるかのできるかのできるができる。 できるかのできるかのできるかのできるができる。 できるかのできるかのできるができるができる。 できるかのできるができるができるができるができるができるができるができるができるができるが	安並恐有下等流民	有少数習存	の現り 灰夏を見る の家所有城内及	漢陽開辦民團 清軍	由交通部編列號數項給旗式以	東各車商會不下三十余更死自高で早 一個 紹格 商輪旗式 - 馬屬在 整備方為周至故斷安訂細則再為酌行
で、東京の場合のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のではのでは、日本のでは、日本には、日本には、日本には、日本のでは、日本には、日本のではは、日本には、日本のではは、日本のではは、日本には、日本のではは、日本には、日本のではは、日本には、日本	別鄉於樹上用槍擊斃 「動勇等即蜂擁上前 擒獲」五人	一名剛首梅君ゑ加振怒大呼上前捉住と	州南君當料園勇二百餘人將淸兵團門	随橫衝直隨並入各家到處要索別首集。 四日最有清軍艦隊二名步隊三名在職	梅家大海渠有鄉鄉數百餘八陽歷之	又孝感客商來云該處距三叉埠十四里。	净盡所有粮餉槍砲子彈甕軍始臺數收	中華化復十余人多數主教	. 45	撃敗砲將艦擊爾五乘而炮彈炸裂牽引	単正行之際不	千餘人預備や・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子野昨帰車行至黄水下之割家町地村往孝感等處並暗藏有料気を	有一級餘人近日武勝糧台日汲汲進	住駅孝感三叉皐島吉等窓へ青星大約谷此强賊行為耶	婦十餘名似此慘無人道文明世界何能	其最可慘者後斃小孩八人を傷幼女少	· 2.	槍。	四人而該實際黃性一族見之大質塗場該兵等積滯成怒随開槍擊態黃小嵐等	衛民令强佔民房實以擾民與强盗何異	突有大隊満兵主該灣註點强佔民居經
一病脛十成 無休受參刊 可太	派 · 斯理 · 吳南 · 東西 · 東	震張し至真会をPD な常己女をP の	人約在舊歷十二月初五日即 須、設 局中人即以此爲定局已與民政長商定	文 大年 新 か 表	表 元 車輪 上馬を攻撃	所では現代 M ・ 田文文句をなり、 一 本	第一成為 經費 如照此辦法都民 數以五成歸業戶四成歸公	後民政廳加印後發公租局征收收到之時由業戶將印成三聯軍按戶城明確數	角)(一元二角)(八角)三等	併計在内大約以后放文(一一元六十二三人に「成征收漕節和二十名	公租局係官助業戸之力現經擬定毎次	民政長宗加彌君到會宣布辦法以設立「除糸業自省ラ石県産婦民財産人婦大倉並請	有数百家内中有大半不以為然	及人	政長酌定辦法已記前報茲悉此事業	后朔沿	▲蘇城業戶反對公租	日内即須成立	政府以期統一事権刻已公舉都督	112	根關須往蘇東南部煙之人提設 地大總統	江蘇都督府已遷往蘇州軍垣一切行政
7	突加以管所員毛鋭格外嚴密無論何人 等情已誌本報茲悉該員到所後日夜痛	欧如凱光道重元亮な巡路向留所置甲が確议事部歴次章接前清食官訊追公	▲追繳貪員之吞欵	職已由本都督照驗於一月十七號灌住	展を選挙を ・ では ・ では に ・ では ・ では に がは に がは に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に が に に に に に に に に に に に に に	一殿現應事館學原有容謀軍務一職現應事館改改軍事一種	行在案所有浙江水陸全軍 工	浙江都督近日愛出通筋照倉署云本都	△班為智兼設施多議	重之多·电	耳目體力合選者十居其九足徴我民國達干餘人極見上、個並聞富複試験	男兒入場試驗順投教新軍者		不敗調道様又担害新事一	□湖省招募新軍	瀬立見云	随三人獲住想一經研訓不難に	多名來東南京巨是三十二 風景 陽	惑立派要差到泰州 電 東 旋 奉 電 復	法是何君階平因未奉到防印味 並通 割復經一一一个部長丁君禾生暨 教	都督府命來東調查並帶有私刻都督為乘船來東丁幕其點您止關掉聲稱是奉	東台國日前「於歷二十一日」有吳某
1910年		龍勝廳云 前次在 古宜聲 匪敗逃 之前疾痛州並派中路巡防第十六隊扼守	兩營由龍勝進兵(一)另派保安右灣兩營由龍勝進兵(一)另派保安右灣	州軍政分府陳統領劉統質委得力將	異常貴州 沿邊か己戒嚴茲將	之水 事龍 勝 融縣各州縣	聚之匪達一萬餘人快槍約一	▲桂省軍務種種	行政監禁候核究	和前在武昌充富偵探因事被革等情	支難途即送部交由程序案執法訊旋供	在普慶里某妓室帶有手槍並指魚		無軍司令部貨架員作王表族官記官	清•」	惟之吞欺證據確實查明一面值知	鹽務飲項至四十餘萬之多經畴都	一	局也	東鄭二人亦早已搾飲引避不識若 區七萬元豈能了事 董 之帳房蔣寫	一指體豐一家而言已有十八萬元之	不得入斯潘親亞曼因苦難堪已命其子

=		,			_				(lit	<u> </u>	=		第	()					(幸	H	聞		新)				1	. (跟		1	第)			,			e e are,
	東正統都諸共為漢を東源に女材解査通照と	▲蘇都督通命之更正			此必應嚴禁除照會通軍都管陳示整此軍	李總司令統軍在 外必未覺察及	等 偷換帮獎 穷 到 时 愈 工 其 害愈烈科	光壽我國民老竟任北後 行實足玷辱民國月托名	是1000年代本本地域,「国际工具设在影响以	医炎疗法所经院失势引 马引攻 美化互升工人	高落精神攻流摩殿路 近手光人民之神文を寄っ	行籌餉獎勵券實係彩票變相於	篇通令事據民政·稱 吳淞軍政分府破一	勵券文	企 对看 查 查 禁	理好賞送 ごう	1	及智慧一百五十余人。	秋 與應大戰連日得第 生 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	6 尚在梧州聞信立派勁族三营 10	正雲相寺東丁野己を直幸住 大都	: 4		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行在。 喀 賀軍猝不及防大。安倉	有以 軍 兩 医 此 紫 疑 質 軍 為 匪 即	林其除伍落後途經八八個學之歷奉	至雒容	藤縣永安州晋金而日率一除由武宣馬	治奉機帶 回桂 林賀乃派兩隊由	途目請交卸電以所部 防 兵與地方不	部各隊洪與民軍猛戰嗣經關停了局質	一清知所主。据清與詩人大有恶感所	()防軍談認自残 澤州府前		选数最可惜者所用無 地快 推六	
では、「他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、	別は地方に関する。	不敢問り思い致か事。自然学堂はりません。君以各権新招之軍統宗部人、且中下兩級軍官皆	※ 利編耳 官學堂 陸軍總長黃克强	は見後ですると	▲江窜通言	聽食於銅可也此合 一下 三十八八八八元	實如練習數心可寫印即持歐深赴提法可處呈驗	李飛代都智指令云該生等順投効率判 檢察各職	不過第二十分 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	1 1 .	▲學生受効作の感じいいい	下記の版を行うと、	大きっちが別盟子司子が忠え、川市 しゅうと	未復不宜過事處存該更死、進化SM 低冷止身	可原准第念族州光復以來秩序維基安 牆而元氣	海東正代都督指令云原悉串海松陽拼 通風氣本	表現容履等呈擬串演》劇補祝紀元號、防保護等	10万分の一個別表別家園	▲演劇時紀新記元 ************************************	1000円間は、1000円では、1000円	要参见保心 票 编设有正軌豈可蹈襲,前清砒政	请《不等情率在代都督指令云據呈述, 清均不然	宇龍が飛獅上情形に顕然何中災労酌 拠章程呈	· 新教養會中學 第 蘇民顯元及等具	民政長照准保持再請本府備務和即知服此令	韓限不得與法定機關和妨主體本一節既 純軟縣	依據定章組織成立文他 圖肯刷自由 結合所定	越在宋縣制亦、日頒布義事會好各項 機關自應	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		等以科論公司求是會呈體立案等間本批都浴指	※ 素 クラ 习 方 宣 泰興縣史李宗	▲ は残るできている。	本本の対象を	野も・ 対し は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	周。またはいい、これには、日外四	十六日至翌年三月十二月して	年字誤書 為期或應更正文十二月十六日	- 『毎年の - 第二条 - 『 - 『 - 『 - 『 - 『 - 『 - 『 - 『 - 『 -
那一种球球 阿里士斯斯多, 再二星	P. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	姚阿與劉三林三名外行金印象除犯收禁該副暗	那聽條訳辦湖防費就便 正將起東之命得腦	行 · 打經洲防伯禄隊拿獲到 · 林等五名解送來	第三於副哨回 頂腦 府率 勇 丁公通益医	· 有象证品之具丁 駐防菱湖錦水獅	「各直をこう	1月11年 日本中が日本	は「中央を一日でなる」と、大学などの意味を呼ばれている。	和果然心脏治中了父 20年上三月第二日	者部長大高語并進表前地立及では一条合き ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	省が音段を動するりが向いるから	伶人黄國泰福主要を終れる	管整态 计一篇综元乃写 大火 打 首	▲伶人熟 忧助的 斯雷爾美越自然	申 查抄方公	· 他們所與東京 日本 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を	国政。是高壬日君遭悉政府豫 在濫興鐵 有原层	由軍政府蘇延面朱置裝表他在北海遍法,外職員	美男子沙湾債級附計有 八萬 金之多楽令日	太縣康科·朱 斯 庭與前清秀水縣令秦國於通问	▲州拿侵吞公款之庫書	4杭州通信	候考驗錄了云云	有自然歷正月十九日起二十日 截出速 除縣名職	香心原格 型立招募 所幸出示職能如有志的戏	『哲足版序招募四』百名作をいまずの日本にある。	は各国、発行しても、「東日本の工業教育所銀著		至省末長科县局期向 牌 之想	指等可保備都會一切治安所用人數解前を織り	內所原報的轉題 憲兵各科一 律書	戊職家各利事宜悉宜贬草。戊期名資相補的將四	徐思卿自受任何成總督後以從前所辦事	▲情戍總督裁職各科 北京	2000年の日本の大学	以三月東東北各門中下两 機工官	十中之程度較優秀速成 普通
新ア極征局 達と新理第十二人 保 ※・ 繁補助	第十一條 獨心田歐捐稅由本地紳士股經悉	法律资布 命令召集府縣 跨會及解散 停止之條	事宜第十 條の緊急事が投入の有執行	十條務が課設をある。最後軍成門内外後ろ	府縣由知事的最情形顯光者改亦。增置課員第	財政各課設課長一員課員一員如有事務的某之	親兵等名目一律裁約二十八條民事原務宣華	得自川敞兵以十名緣限所有原有之差以 及內外	20年日三の一大地上の大学の大学の教育の中	1 記憶をする事は、世代事学辺投ガハ郷元	条 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	外属 言語 政 寛 市 丞 月 仝・ 一 本 作 縣 知 事 心 自 辟	田本芸寺文宗をきい合うな木があった。	正神上は夜間文集が日で仏話しる中では大大大の大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	司法委引外に発行所謂の事奏り、文地デナタ	事宣第五條各康佐治人員衆司忠高人	曼 麻然 制具未成立以前質 設司法課以管實給	及察集八基等事宜司法獨立 應是數司法機圖	田屋田就會市品等流建官業、八重八景頂軍報告	(四)資業課祭農工商及交通事宜(五) 財政課章	事宜(二)時務課率施費户籍制生消防等事点	制管緯紫烟民團等事宜(二)。學養聽悉教育行為	第四條名以及政政政治員(十)民事課事自治	帝承其指揮で 二大 いっぱん こうけい しんしょう	有監督の人との全角などは	安から子、東北岸東西県大平東海の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の	首縣原有之轄境係各府區域等都州改州 悠府祭	由省政事。選定呈開都督委任各首 縣均裁即	(1)各内政府知事一員各縣政縣知事一員	→ 異軍政府暫打地方官制 - 毎	★安慶通信	四個滋事以是三符提供該鎮軍区	一緒各界以不體美弦期交 界之處毒球工功管項	前 作兩烯雙林等銀行用藉練步伐十三號運行	11 各科已濟定孫錦澄等為教習元月十二號列	一沈毓麟并是我以 戰術及北 方 此	學生軍事の中央全職業生館法歩法訓練順・	▲ 學生軍行軍誌聞 ※無新組載	では、一般的特有可可受害的を対応できる。
道與路事公司的合辦理別有產業共值支金二十	倫敦賦六倫代也民戰		長者被馬賊所殺李弟兩人幾至長春餓	莫斯科皮飾領袖兼設分行於哈爾資本	大宗營此業者俄商居多有兄弟三人爲	俄商受災 ○吉林商業以皮毛爲	盡數拘禁堅勢極盛	民黨近日大集教徒樹獨立旂并將滿八	民信奉回教者最多教育會某交通有會	回数品化の東西の裏竹也方人の東方では、東京のイン・東京の国家者	想恩翼追随中西各強威之後於正月五	獨立後亦有除舊布新之象乃定議採用	外蒙古之陽歷 〇庫倫活佛宣布	豆產者不敢輕性	物裝至青山驛屯積日俄各商之收買大		呼順及通貨之間結成一隊居民米穀行		と馬氏	譯	河路ア十一万各際課員月給舞船で、十一万	政 務	· 大小原介別 扣 班班希廷玩此論文 同已核准	第一般後所有在元年正月一號 · 前借支用費	中海・大阪部で自行松を使即川県検修・坊を計	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・一点命各部態長次を各科員・ではいるのは、一点の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	4 13	河 第十九條 本質制係本者馬時級意成立歌風	作治臭俸給 川資院照城 方管構必費 華麗龍橋	期則由各府縣自定第 十八 條は縣知事等	一所發、文川皇第十 七條府縣内部各果時期・	プー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	海・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	地一語のでは、これでは、これでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	新	芝一分がいいおおり ローター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
指揮關於軍紀及給秦則受兵站 司令官之指揮	院之規定關于南生動務則受兵、佔有主節長と「別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の別の	4	- 3	方聲師等但,病院長期必須以軍	_	ut.	1 : 4	date		· 部隊及在兵站管區內之中者及 後與歌聲之不	"一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个		國功等則質 土羊香	11 1/2	-	推一第二十四 野戰病院令代終時期 方高級軍醫以				光與針之司令州失祖絡或交通 不能確實之時	第二十三 瓦蒙神华而斯古象谱	代員金級点流品加製品物表同	要具等領與思考所別此之品物		第二十二 Not TE E I I I I I I I I I I I I I I I I I	誌及第方錄與思者共交付之收	12.	# - 1	打		▲中華民國陸車衛生	事件	(事) (3) (1) (2) (人) (2) (4)	5	1		在	C. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	



中國製輯公司國白 #2181

使用

4

即年三十治同自始創

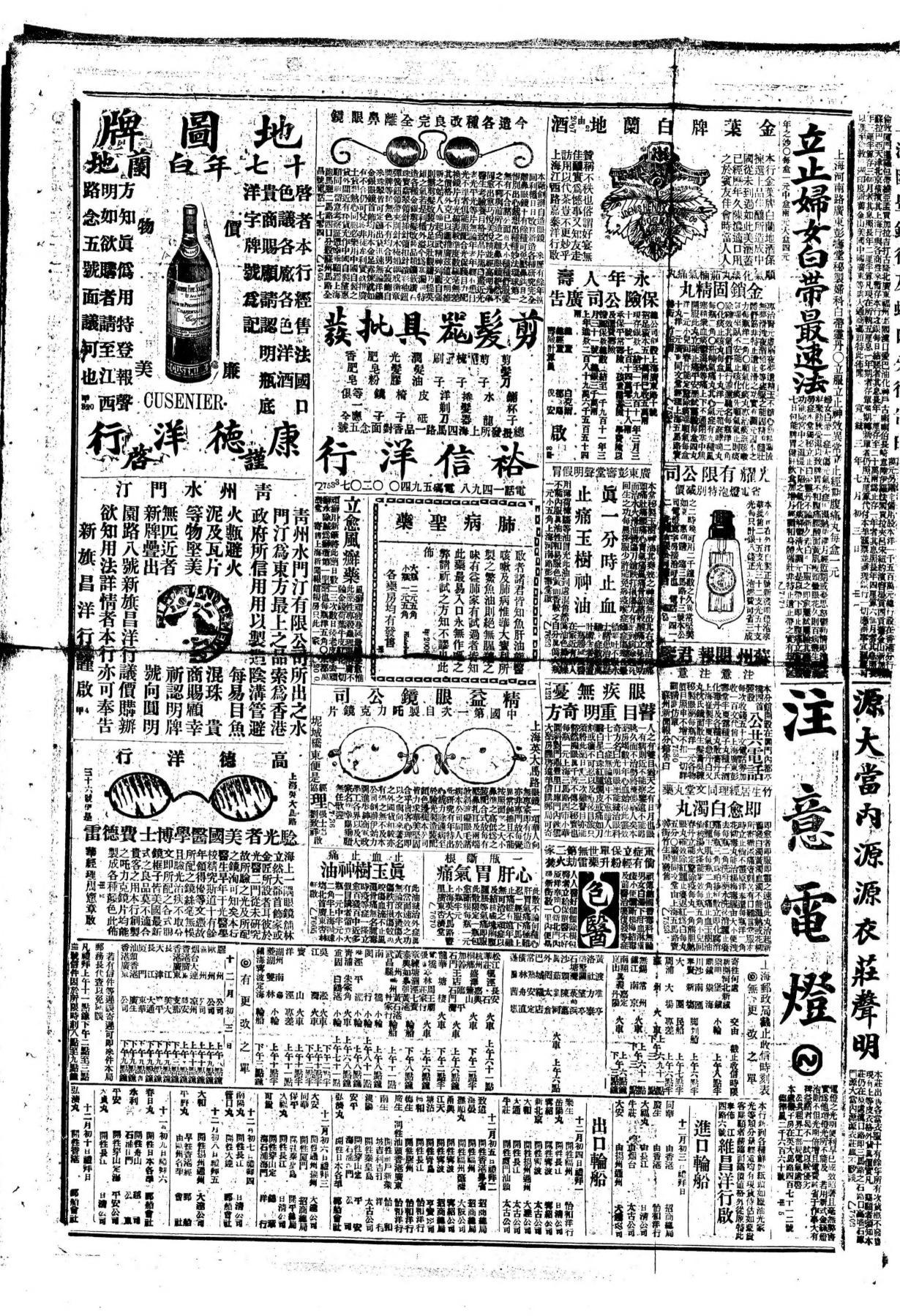
年四十七百八千一英

發批紙花軒六

、五根照单

折彩甚常民 墨大急買軍 冊小**故易獨**

不應鐵時八 日接賴東十 性數長京五



國民協會選舉幹事

昨日下午二點鐘國民協會假江蘇教育

被舉爲幹事長因時已晚定於下星期午 並報告本會宗旨嗣投票選舉幹事員共 由職事攜鈴開會公舉唐蔚芝君爲主席 後一點鐘再行開會選舉評議員随由温 百 欽甫君衆當衆演說散會已五句牛鐘矣 奉二十二人當以温欽甫君得八十五票 總會開選舉大會職員及來賓到者約三 餘人陳都督唐蔚芝君等均來參觀先

官堂茲悉該軍隊接奉北伐聯軍徐總司 提日內出發徐州云 迅速前往剿捕等因業由該隊長羅君建 **土俱各佩有手槍現駐紮本埠西門外三 均各猛勇非常備有炸彈甚多且各該軍** 芳君所統之滬軍炸彈軍士計有一百名 ○炸彈隊對付張勛。炸彈隊隊官羅春 令命令以張勳刻因逗邇徐州應即由滬

情事如有不遵定即送警究辦切切特示貼之後仰各色人等一體自愛勿犯以上 驅逐恐爾商民人等不知軍律反以爲本 爲營舍惟接近街市恐爾商民人等集聚 照得本除奉都督陳札委開辦暫賃學宮 資撥充各軍除弁目昨日華除官出示云 已編分五 札委華玉梁招募軍士養成隊兵士一隊 ○軍士養成隊成立 **隊兵士之非爲此特預示小知自此示實** 序甚有不便本隊有守衛兵士時時可以 圍觀以及售賣食物等項於本除整齊秩 **予八星期內操練各種技藝務使嫻熟以** 粟經事成一百五十名均有軍事學識現 排每排三十人茲奉陳都督限 **滬軍陳都督會經**

之北伐鐵血團業已禀奉北伐徐總司 於陰歷本月初五初六兩日在斜橋公典 惟所招軍員能否合格亟應考驗爱特定 批准現經招有軍員二百餘名擬即編練 ○鐵血團之考驗 辦事處出示考驗以定去取一俟考畢 黃鼎君等組織成立 令

> **藍**天 斯都督率督防禦北軍 於前日駛赴吳淞裝載民軍一千五百名 及軍械等件前赴煙台一帶擇地登陸歸 大總統命令轉雇泰順新昌公平三商輪

滬寗早車赴寗謁見孫大總統面陳緊要 **雲華因有要公於元月念一日清晨乘坐** 管帶代辦昨已牌示矣 事宜所有大營一切事務以中營楊勵身 ○運軍營統領赴寗 **滬軍營統領王君**

崑山縣民政長方君以匪勢稍退滬軍即 須關回特忍死灰復燃特請楊管帶撤回 有撤回之兵已於昨晨返沤矣 營楊管帶率兵五十名前往拿辦在案茲 土匪騷擾首由滬軍陳都督飭委滬軍中 ○崑山防兵撤回一半 一十五名以一半兵士仍留該縣防護所 崑山縣境前因

報茲悉敢死除隊長劉司令奉文之後除 軍服外出遊玩如違定當查究 所部四隊隊官一體嚴加約東不得身穿 禁軍士身穿軍服出入花寮戲館會載昨 〇嚴禁軍士遊蕩 出示曉驗各兵士懍遵外並於昨日分行 **滬軍陳都督出示查**

北京組織暗殺隊自當第二隊隊長實行 六介弟陶鴻源義士日前不別而出直抵 禁爲同胞放聲一哭 君直認不諱即被立時絞斃甚至屍分數 不禁哀痛欲絕吁壯志未遂身先被害 向居滬南大東門朱家弄昨日接聞噩耗 段慘狀難言陶君之太夫人及其昆仲等 暗殺清廷內閣袁世凱朱達目的被獲陶 上海審判廳檢察副官陶月湘明源之第 班 志未逐身先卒

工黨開會記

究長由陳警庸錢錦華范幼蘭三君担任 推畢由徐君等宣言凡黨員皆有籌劃 **衡臧二君爲副長朱繩先君爲總務長莊** 員當即推定朱志堯君爲正長徐企文鍾 滋生君爲宣講長編輯由興君聚任至研煉石君爲交通長洪承祁君爲調査長劉 允升君為經濟長嚴月波君為文牘長沈 起後之狀况後即推舉正副黨長及谷職 者徐企文君報告發起本黨之原因及發 門內事務所開會先由發起越黨之主動 中華民國工黨於昨日下午二時在小西 招集同志之貴並謂如有意見請函 經

發達及散會時已六下餘鐘矣 君等起言願力任此種義務以謀本 ************

昨日下午二鐘假愛而近路棉紗公所開 ▲共和建議會會場紀略 F.

散會 前清之彩雲本會應贊成蘇都督之政見 由李君左明陳述近日所售獎勵勞實即 員每月照繳洋半元顧特別助捐者聽末 繼又提及經常費自陽歷正月元號起會 臨時特別會到者百餘人首由姚會長文 府從中和解並由市政廳代為另籍地品 立以來之種種手續王博識君報告青蓮 棟宣布開會理由旋由王河屏君報告成 **卷事務所與商餘學會之料萬已由軍政**

▲刻字業組織商團

維持秩序成效昭著久為社會所公認所 屬手工營業有限朱君等能發起商團為 定章程不日選舉實行開辦 鄉斗姆閣爲會所名曰上海永義商團擬 恐後茲有刻字業領袖朱君錦堂等發起 舉辦商團足以輔吳力之不逮桿衛閭閻 以本埠南北市各業相繼組織商團爭先 工業倡足徵熱心公益殊可風矣 制立商團會員以四十名爲額假本城邑 按刻字係

▲水爐業但知爭款

命是日投票選舉 所會議以多數取决徐供求退總理官亦 齊同業定於本月初五日在日暉浩新公 以此項公款應否捐助軍輸着徐順唧邀 控茲奉湯裁判提訊原告並不到深問官 四五百元存候公用運有該所同業黃楨 暉港購買新地將義塚遷往所餘公數洋 部局之後由該所柱首徐順卿等另在日 大衆擅將公飲充助軍餉並投籍判廳專 **榮等觀說公數**欲思分潤不**遂**並不報告 **滬城水爐公所義塚地自買奧公共工部**

中華律師公會成立

茲奉蘇君等定於陽歷元月二十四日即 **築並假濕城彩衣街附近某民房爲會所** 中華民國辯護士公會由滬軍政府執法 舊歷十二月初六日開成立大會昨已通 科察哈民君等發起禀明陳都督批准立

黨之 ▲船捐照舊徵收

以補蒲肇河工善後經費在案現仍照舊 悉務須按月繳納勿得 上海市政廳爲出示曉齡事 收自西門外至土山灣止蒲峰河內所 收取以充公用爲此出示 船隻應繳船捐由西區分 延干咎 **晓諭各船戶**

▲敢死隊之效用

門乃有棍徒造謠反對因恐 感情形移復李民政總長 准即每日派令谷除弁兵 吧起至薛家浜等處彈壓以 P移請滬軍福字敢死隊長 種業經開辦在案茲民政 深所開辦之三日內派除出外在十六 起海南至薛家识為止按 帶梭巡迄已三日幸無事 南清潔所現先開辦東南 段承倒各家品, 劉司令務於 端特將出 排除至該處 防滋擾劉司 滋生事端爱 總長李君訪

致夠實垣必能虛席以待本 和伊始須才孔殷該生偉略! 之心奈以事少人浮未能設法安置希 一概乎言之足徵抱頂現值 軍都督陳批梁鎮中捧閱 中央政府組 都督素具愛 槃槃此時如 兩禀一腔熱

▲趙珊林少安毋躁

韧查本科念爾苦衷暫行職押亦思委曲 修辦可也 成全並非置之不問切勿曉曉多價靜候 远但爾所**犯嫌疑陸軍總長黃正在嚴密** 暴閱悉據稱各節本科早經明晰無庸實 尼軍政府執法科長蔡批趙 珊林呈批函

▲稅司嚴查私運軍

意嚴查毋稍懈怠云 本埠二 **红**洋員以後凡遇外洋輪船 可論令充公嗣由滬軍政府 路司以此項軍火並不先時報關核准 槍一千餘枝槍彈一萬餘 智單進口顯係夾帶不允通融並諭飭 被江海北關稽查洋員在煤袋內搜獲 菱公司春日丸輪船前由日本來 移文認領墨 題奉墨稅務 進口務須加 稽

一被逃之兇犯弟

年戳斃公共總巡捕房

六百六十

員得悉堅執不允不知作何了結也 公共公廨自歸捕房經管後力加整頓現

●●●●●●●

歸案訊辦今因過境請爲照章派捕護送 犯拐案之周有高朱榮慶兩名於昨日投 捕頭立飭七百廿九號華捕護送出境 公共總巡捕房真稱該兩犯應解青浦縣 上海地方審判廳長飭警察帶同青浦屋

前由六區區長率領長警前往拿獲三十 死劉係浦東人住居顧家術前爲木匠已 仍在開賭區長聞報往捕當場槍傷賭檯 餘人尙未解送總局凱辦詎前日該棍等 奈該賭棍等點不畏法依然開塲浆賭日 五圖內向爲賭窟雖經都督府出示嚴禁 田家屬投案水免報驗到院收險區長查 那劉全生一名送仁濟醫館不及療治而 **閘北北段第六區胡家木橋東廿三保十** 得巡士鄧邦寬不合擅行開槍昨送總局 解日 來廳正式購狀經遞切切特示

張乘南匯光復時脫逃無蹤近復潛行來 拿獲解廨訊判移送上海縣訊辦嗣因上 號華捕毛元康之兇犯張永貴前經捕房 入捕房捕頭略詰一過驗釣押候解公廨 源昨晨在北京路行走被老閘捕房包探 **翁松林查**獲並在身上搜獲尖刀一併解

一交保室中之煙鬼

之際適被駐廨一百廿九號西捕查見當敢在交保室內私喫洋烟正在吞氢吐霧 法已極驗節押候解廨訊辦以陳胆敢在公廨之內吃食洋烟質屬不 **歌舞台戲園股東陳輅清因不理英商德** 將烟具一併帶入寫字間據情禀明捕頭 **詎陳由捕帶入交保處詎陳烟癖大發竟** 將陳傳至公堂經中西官訊判交保候訊 和洋行貨銀被控公共公廃由探邵阿金

▲禁止書役佔居衙署 0.000000000

解所有書更家丁人等在署內舗設房間經駐解八十五號四捕頭惠勒君查得公 今以後署中每晚六點鐘止書更家丁人 住宿處此時代實屬不便故昨日體飾自 概不許出入且不准在內住資關歐

某日人因醉在途殿人被九十號西捕拘 訊明判罰洋三元以敵 領事署已記昨報茲悉業經日

税來餘不承認判一併留候 禀明軍政府 裁判所陳裁判研訊供認手槍等在船上 **授黨**詰問支吾解至該公司函送市政廳 呼搜得鎖子二十六粒剌刀兩把恐是暗 查獲在范身畔搜出手鎗一支並在邱身 芳在某輪船內圖竊客商財物當即上輪松林報告有著名長江巨竊范金榮邱永 核辦手槍及槍子等暫存 **澠南大達馬頭巡丁長楊芝階前日據周**

閘北北段第一區區長李欽典被全體長 總部長批准將該區長撤差調回總局察 一面調委六區區長楊旭以承其乏

▲査辦遊謠之奸細●

投查事務獲解究以息謠言而除後患盡因專明陳都督一面驗飭得力偵探分 路德山之黨、羽爲甲乙等四人皆匿居各 軍政府滕報科應科長訪聞查得專事造 其爲真因此以訛傳訛謠言極盛茲爲滬 决不爲其所恐而一般無識之流難免信 其會都督任意揮霍等語但稍明事理者 省任意捏造謠言謂某會都督連娶姬妾 下羽黨 由天津 第二次 出發暗赴江浙各 清政府特派暗殺黨首領德山等分遣手

友人在家賭博爲本城四區警局巡士王 交保再犯重辦 區區員查明本當深究姑寬判將王斥革 子真查悉入內許去洋一元數角嗣爲該 **滬城太平街商民高龍標前日糾合二三**

程歧異未便准理仰該商人姜渭濱自行告並無住址無從傳訊兄與規定訴訟章 交軍地禀嗣及粘抄到廳查該商所控被分所咨呈內具商民姜渭濱控王杏生揹 海地方管判廳爲示遼事准東溝裁判

= 住居公典租界會樂里第三百七十七號 門牌之燈 候派採前徃科提歸案飲免 陳裁判]]供承認惟聞王避 居剛北地方求勢判置 整稱前在某處裝煤七百餘順共 劉克定前日扭送准排財配船之 食傷昌至裁判所 滅北公共租界仁配路一號門牌 一千餘元寬寬推該並不查追料 理關係免追解由 王萬有一船中途逃逸失去煤一 八李為氏家保有火險銀兩前晚串同辦 夫何松觀 摆配以遂汝女從良之志駭氏亦可告無鄭矣 所請 東請給予領回昨來陳載州此宗云明點各有一命立 未便照准此批 飯耶據裏被人煽動果頭歸爲之熟金致此實,顯自 以其生活而必欲以親生女兒作賣笑生涯始 **貽伊戚梁經判定暫留仰移提高姓到案再行 發至** 身要貴清白耳該氏無論如何窮苦豈真必無 述出率市政廠裁判所獨堂提配前日队氏又,且軍 揚州婦人林潘氏之女在某花煙館依門賣笑。近 段及一般人民歸附之心理外獨附以秘 區區長即將全案解送總局以憑訊斯 **举新佔各的該作场是否問政聯界後的科查 提到** 別民徐小園東批掃廣窗故兄徐森記木作被 和國國民者不可不人手一編也 史及通論舉舊史所傳聞時流所編列者 無憑核辦〇民婦宋袁氏鄭此所惠是古實情仰四 級又不將順泉公司住址及收房租之人姓 名指 來再行質試〇民婦毛崇氏處批此案房票比 未呈 造革命之原料七八編見黨人布置之手 記(三) 鬆據狠毒記(四) 文字慘獄記 見滿濟入關之残暴讀五六編見滿清製 分八編(一)滿族原始記(三)關外猖獗 一一件繁而條舉之以餉國人欲為新共 **単命先聲詞(八)滅亡迅速記讀事中** (五) 漏亂相琴記(六) 秕政蘊藏記(七) 吳江楊甦民先生新福滿夷猾夏始末記 公共總巡捕房總巡卜羅斯君昨日職飭 華捕調往老閘捕房辦公云 捕房富宝楊樹浦捕房第三百五十 匯山捕房第九百廿九號華捕調往總巡 ▲公共捕房瑣記 ▲南市裁判所案 ▲南市裁判所批 ▲開北民政總局批 華符 中華民國元年正月二十二日●□●四本家屋工二月初四日 瑣案 百四十四順值井 有五船孙裝內有 開平碳務公司彩 有取 麓 傅 第十二络「本社會期計分五種如下 第十二條本社無費每月收入支出須於 第十一條 本社經費以社員常捐及特別 捐定之 一職員常會 向東不選求追等情事別以情 同串寫管押斗四天 不韓判高押三月吊出之呢准 求完邵供商人向高歐唱照市 價買下並有該店後 前來情商照洋六元商人不允仍求追洋森藏員前 交出少去粉鈴各一連及欠租 八天共計洋十三元 一特別大會 凡重大問題後生經社員 三分之 要為証徐誣收職名等攸關求 公 呢若干售與 那姓 從 样十元 查悉報補吊出原職 人并用保限七天交清〇徐寶 松江路第二十二號門牌三面問漢傳書。因深在 一輛租後人即不見將顧專獲 陳旺生一名解押捕房候辦 **食查〇句界周阿命昨日組獲 猪取某四婦皮包之** 一以上之要求由社長臨時受報召集 開特別 限交拜十三元在案今期滿送 凤鸡昌前 控帮顧長發前代伊 友來保租去脚踏 行人食阿明致傷頭面投報補 房送同仁醫院療治 **间赌徒秦踏經維塞糖房第五 十六號四艘及四百** 决定由社長公布之 單傳訳〇三百九十六號汽車 八十號華捕亞見越情回處視頭除伤底睛公解出 戶饋花陳愛驛均因不原爲胡自投濟良 狩藝所置 入翻戶各在样十元保權與解解飲核〇 公共租界 羅坤生在天津路雉校院內辦場吵鬧由 捕查見帶 通知捕房的控查明押候解解政党〇酮 匠施柴富 滑逃緝提这个朱瑷昨日思看來和界被 包探朱阿 **国論的押侯解稱〇浦東人叫順賓於去 年四歷十** 泉敏性香當將何松焦及氏一併拿獲狗 入摊房艙 大會 巧查預拘入捕房捕頭驗飭押候解解以 在是內縱火斷暗保險但兩事爲捕房查。然妨探金 一星期內由會計員證具報告冊交評題、部籍會 以前脊報布告支無社員得一體與會 一月四號在蘇州河船上將船戶陸四寶 ▲法會審公堂案 第五章 會現 民社規約 第四章 經費 每年秋季開大會一次其日期 須兩月 每月鄉一星四四八日午後 二時合 1 給邵領去 断高供認验守自签 山控稱店與高金面 祭周團稱顧之姊姊 扭整捕房後始將車 昨過四聯得路撞倒 下月第 戳傷九處 師〇妓女 王鴻的李艺輝、孫一武 十號四明銀行開壁, 第十五條 ◎陶徐陳爲四烈士傳略(囐天生述 第十七條本數學務所智設上海江四路 第十六條二本社規約有應行餘敗者於閉 言論機圖 第十四條、本社先在上海股立本部各省 培養元氣(三)發達民力揭襲三大 吳敬恒 獨聲斯 劉成出 項 職 地が足以應時之智識植共和之基 風望幹事長也 健吾債裝拜政黨願以美之查法藩 主義雖與聯合會之政綱互有詳暑 孫旋精、周、恢、脹伯烈、汪勢年 要之發明政見爲國民運用政治之 昨日民國協會開大會幹事總長温 版起人, 黎元洪, 蓝天沿 次設立支部各職員未經正式選舉時由 朱立剛、徐 概多數社員之同意得提識修改 先行推定分任職務 飲苗演說政綱(二)統一國權(二) (十二月初三日紹興同郷追悼 ◎列傳 台中特 但不加入醫决之數 齊藏台開齊讓會時幹事員得到會陳 **是一种介護官一次其特別事故**發生 **評職會** 每月第一星期六日午後二 員三分之一以上之要求得由總幹事 事會一次。隨時数生事件得由總幹 線幹事通知開職員談話會 **馬員全體開常

百一次如臨時後生事** 新 00 本社先就上海組織民學日 0 0 . . . 0 0 **無星期六午後二時由幹事** (学)高彩海 郭德舞 譚延國 朱理 後起 逃意自 通知 件得 員開 C大 開 〇規 级 〇小洋贴木。每角、十六 ○净吉英洋 知 度親王奕劻杭州將軍 十二月 科外特重武事徐公威 識陶公益謀擴張乃運 得道員億以策干張之洞袁世凱得 徐公乃進謀握清政府之吳權捐納 以是創立大酒師範學 盡交其質又感草澤英 多智謀曉大義造時勢之英雄也自 徐公伯蓀諱編麟籍隸會稽之東浦 奔走歸之而尤與郷人徐公最相得淡經營而光復會乃成立四海豪俊 焉及事敗求所以為永 怒進行益力甲辰欽廉之役陶公有 歸國而奸奴遽反汗削其學籍陶公 謀去之誘以留陶公思從權潛進乃 條漢奸汪大燮患之與那桐陶大均 祭地勢以圖大舉後以事阻益自到 商 英雄也甲辰以前入 有大志歐革命尤重 勵東渡入成城學校習陸軍頭角崢 氏不果退血探其穴 四烈士之事迹有足 **炒**酮諱成章越之山 之英雄尤難飲水思 雞被時勢造成之英 。 然作有名之英雄**易** 者十有七省風虎生 人日本陸軍學堂精 郭渚揭義不上 務雜誌 單十一月十六日 初三日 一片土 一千三百念 一百六十五千 雄易造成時勢 龍人才際起雖 处望乃遍綠林。 堂於普通學 長某之介紹 中国的 力遨遊滿蒙考 北京謀殱那拉 陰人也性誠實 源此陶徐陳馬 作無名之英雄 **真践**世之無名 多者謹粲陶公 动浙之會黨 文 文 串 雄教育偏廢 久之基礎慘 一千文 七國六分 六錢入分五厘五 九錢 七錢入分六厘三五 七錢入分五原 千三百念文 矣世之爭名權利而得保首領者於 之謙徳記意於月之十三號夜二時 百六十八千一 速遭奸人暗殺於廣惑怪院嗚呼冤 之力也會浙督湯卸賣浙人咸屬公 事起公返里召集奮部浙江光復公櫛風沐雨胼手脈足晏如也及武漢 公退讓不遑養疴滬廣國人方飲公 坡中與日報及抑光光華日報筆政體日堅义走廟洋精資聯絡任新加 復於爪哇立書報社及光復會分部 之公走卒就擒就義之日慷慨不屈。局相持刀折彈絕援師不至陳公死 遠灰其志乃繼徐公葉奔走浙屬團 而尤不堪爲陶公地然陶公不以是 馬公亦死焉是役也有識者皆悼之 院吏剖其心以祭恩酋後五十日面 松還擊恩質於堂井節其左右帶泉事有顧松者漢奸也謀破公公首擊 组 以下首通發兵來攻公率衆據軍械 子畦諱宗漢性聰頭亦皆陶公鄉人 助徐公及期恩曾以下咸戾止校執 而徐公之及門弟子也二公職院力 戒備陳公蟲峰韓伯平性堅必馬公 **金日諾又密與同志陳公馬公嚴為** 意恩國因事製命改早二日徐公迫 海外同志集於皖而期以五月二十 院中官更叛堂觀禮亦期於是日不 八日會巡警生將畢業徐公乃遍邀 之加二品銜命會辦巡警學堂於是 不及待日討厲諸生繼之以泣諸生 大權在握而大舉之望益迫乃密召 及俞廉三之助力謁清院撫恩銘器 高南帮機自經六元次至高中帮機自經六元三次高中帮機自經六元三次 〇各油行情未開市面看平米市亦平 今到各帮之米五干餘石 米麥荳油 四州军二级 公元三次至五元·八角 公元三次至五元·八角 公元三次至五元·八角 西五十千 奔不知順柏亦姓命如何且頭下回分解 元五角 《一定把他抵命我們就可以得了這分家產做 **鄭輕絲進願柏舟王小想的長間把帳子一揭** 次日晚上二人和商定了用鍋煤塑在小鬼臉 永遠失妻豈不是好那小鬼拍手造好好到了 剪刀叉在他房裹且這東四別人那裡剪得看 **奔觀斃有剪刀為憑那官兒見死。屍在他房裏 施好二人交類而歐一線不掛那小水栗緊牙** 上與活像一個小鬼等到二三門鐵時候二人 上逃了出去等到明日我就告他一狀說他通 我想等他二人睡着時候你用顏色塗了臉掌 **豈不要抵命我**有一個法子也看安當不安當 打死就完了那婦人說道還不安當打死了人 和姘頭并行小鬼相商要想弄死他二人那样 行小鬼道詞容易得狠明日拿枝子鎗把二人 那妻子似他二人切肯天天想報仇害耻一日 面找着了妻子把他軍軍質質打了一旦因此 加追問得急那王小姐沒法客略告訴說是被 不住流下機點眼淚那丈夫見他這般模樣更 一個样行小鬼他見顧柏舟討了一個女子籠 以視陶公之志鞠身殱則尤寃矣 一把快剪刀進去把這男的陽物剪掉了你馬 怕他失要吵鬧一日丈夫見他面有傷痕過智 他妻子打的那顧栢舟聽了怒不可遏奔進後 間他何人打傷他却不肯說無奈心中一怪忍 可條王小姐真是苦命他家中只有一個老母。 人吃唐他却從不在丈夫前告訴一句因爲恐 不久又死了從此有苦無告伶仃,弱女常常受 断王小姐性情啊激而常逆來順受必氣吞聲 心天天待丈夫出門後百般欺侮還王小姐幸 **啐了不得把他丟在九零霭外就生了嫉妒之** 孤國柏舟的妻子人既內悍惟更活為早班上 第十一回 顧柏舟深有被關 酒石公 **参男女現世究** 高珠角雙轉自除五元八次至五元四高珠角雙轉自擬六元二次至五元七 高常帮自元五元九角次至五元四角高常群自種六元五角次至六元一角 屬联同自陰五元六角次至六元 高睐问道和六元四角次至六元 高蘇同自種六元四角次至五元八角 高常帮小麥五元次至四元

A STATE OF THE STA

-